



2024年8月7日

各 位

会 社 名 SOLIZE株式会社  
代表者名 代表取締役社長CEO 宮藤 康聡  
(コード：5871、スタンダード市場)  
問合せ先責任者 取締役 木下 和重  
(TEL. 03-5214-1919)

### 2024年12月期中間期業績予想値と実績値との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年5月15日に公表いたしました2024年12月期中間連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績等の動向を踏まえ、2024年12月期通期の業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正は行いません。

#### 1. 2024年12月期 中間期連結業績予想数値と実績値との差異 (2024年1月1日～2024年6月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する中間 純利益	1株当たり 連結中間純利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,672	△28	△42	△64	△13.03
実績値 (B)	10,747	88	60	18	3.67
増減額 (B-A)	75	116	103	82	—
増減率 (%)	0.7	—	—	—	—

2. 2024年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 連結当期純利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	22,876	977	978	667	131.47
今回修正予想（B）	22,739	350	327	182	36.00
増減額（B－A）	△137	△627	△651	△484	－
増減率（％）	△0.6	△64.2	△66.5	△72.6	－
（ご参考）前期実績 （2023年12月期）	20,081	885	876	580	125.99

3. 差異の理由

当中間連結会計期間においては、米国子会社 SOLIZE USA Corporation のソフトウェアサービスやマニュファクチャリング事業の光造形等による試作品製造販売、及び、3Dプリンター設備向け保守サービスの実績等が予想値を上回ったことが主な要因となり、連結売上高実績が予想値を上回ることとなりました。また、国内設計開発の受託事業において、売上高の増加に比して外注費用やソフトウェアライセンス料等の製造経費が抑制されたことや、管理部門の一部費用の発生が当下期以降に遅れることとなったこと等により営業利益実績は予測値を上回りました。上記の要因により、当中間期の経常利益実績、及び、親会社株主に属する中間純利益実績は予想値を上回ることとなりました。

4. 修正の理由

昨年度よりデザイン事業においては、ソフトウェア開発の分野での事業拡大が成長著しく、実績を積上げて参りました。当連結会計年度の下半期においても、同分野での高い成長を見込んでおりますが、エンジニアの採用計画に対する遅れによる収益計画への影響が明確となり、当要因を主なものとして、通期連結売上高予想値を下方修正することといたしました。

上記の要因による通期連結営業利益の予想値に対する影響は限定的と見込んでおりますが、今後の成長をより確実なものにするためには、採用強化策として2026年4月入社の新卒採用も含め、採用者数を増加させる為に採用チャンネルを拡大するなどの施策の実施、並びに、分社化を予定しているソフトウェア事業や今後計画するM&A等成長分野における営業及び管理体制の強化が必要であると判断し、当連結会計年度の下半期において、これらに関する施策を実施することといたしました。その結果、販売費及び一般管理費が下半期に増加し、通期連結営業利益の予測値を下方修正することといたしました。当初予想値より増加する主な販売費及び一般管理費は、採用活動費3億円、営業及び管理体制の強化のための人件費が2億円となっております。

以上

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。